科目名	文化人類学	講師	非常勤講師
履修時期	1年　前期	単位数	1
		時間	15

＜科目設定理由＞

看護の対象となる人間はあらゆる文化の中に生きている。文化は生活の集大成であり、また文化によって、生活の価値観も影響を受ける。異文化との価値の対立は時に葛藤が生じ苦痛でもある。葛藤を克服し、異なる文化を理解することは、感性を育む。

当校の位置する北荘内は、江戸時代「北前船」の寄港地として、また近年は、インバウンド施策による海外の豪華客船の誘致・受け入れ港としても機能している。他国籍の方の受け入れ先も多様であり、諸外国の文化に触れる機会も多いことから、異文化を受け入れる土壌にある。自分の生活圏の文化を知ること、そして国際化が進んでいる現代において、世界の文化を知ることで、相互の影響を知り理解を深めてほしい。

学習目標	学生の身近な素材を取り上げて、東アジアや日本全体の動向の中で、各時期の人々が、変化する社会や考え方を如何に理解し受入れ対応したか、その過程と影響などを現代の社会と比較し学ぶことによって、地域理解と人間性の幅を広げ、今後接するであろう多くの人々の価値観や人生経験等を理解し認め、自ら考え判断できる人格の育成を目標とする。
学習内容	本地域は、最上川舟運と日本海海運の結節点として古代以来発達してきた。しかも、本地域は単に経済一辺倒ではなく、物流の進展に伴い人々の往来も活発となり多様な文化の受容と放射を繰り返しつつ本地域の社会を形成してきた。このような本地域の形成の背景を学び理解できるよう、いくつかのテーマを設定し講義を展開する。 学習テーマ 1　文化人類学とは 　文化と人間の関係 2　塞道絵幕の世界　1　人物編 　酒田の塞道行事で使われた絵幕が描く人物を通し、その生活史を学ぶ 3　塞道絵幕の世界　2　建造物編 　絵幕に描かれた建物などの構築物から、その歴史的特性を学ぶ 4　酒田の町立 　地形的特性や歴史的特性、生活生業から町の成り立ちを学ぶ 5　酒田の寺社の動向 　さほど広くない酒田に、多くの寺社仏閣が根付いた背景を学ぶ 6　湊の賑わい 　日本遺産に認定された酒田湊、発展の契機となった西廻り航路の整備の背景と成果を探り、本地域に及ぼした影響を学ぶ 7　通過儀礼と年中行事 　畏敬と感謝、祈りの儀礼と行事を通し、地域社会と人々の結びつきのありようを学ぶ
授業形態	座学を中心に一部野外学習を取り入れる。
評価方法および評価の観点	テーマ設定のレポート。資料の扱いと論文構成、結論の導き方に寿点7
テキスト	特に用いない。講師が学習テーマに即した資料を作成
参考資料・図書	「ジュニア版酒田の歴史」「酒田市史」改訂版上・下・別巻など
履修上の留意事項・受講条件	特になし